

## 高齢者の介護予防・生活支援・認知症予防事業の拡充

高齢者の「元気～フレイル」「フレイル～要支援」「要介護や認知症」身体的状況に応じ、3つの事業を実施する。

### 介護予防動画配信及び集いの場運営支援事業

集いの場の運営支援システムを導入し、介護予防動画配信及び動画視聴履歴、集いの場参加把握、基本チェックリスト・体力測定結果を被保険者番号や宛名情報と連携し、個人管理する。動画は週2回更新、1回30分程度、内容は運動＋脳トレ＋創作活動の3本立て。配信期間については、初年度は10月からの開始で、6か月間を予定。

個人向け：利用申し込み受付後、個人用視聴URLをメールまたは手紙で配布。1か月おきにリマインドメールにて視聴案内。

集いの場向け：集いの場出席簿、基本チェックリスト、体力測定結果など、紙での提出があったものについては、OCRで読み込み、運営支援システムで個人管理。得られたデータから介護予防に関する分析を行い、市民へ「集いの場への参加が介護予防につながる」ことを周知していく。

元気～フレイル

フレイル～要支援

要介護や認知症

### 住民主体型訪問サービス B 補助金交付事業

住民ボランティア等の地域住民が主体となり、住民主体型訪問サービス事業（掃除や買い物、ゴミ出しなどの生活支援）を実施・運営する団体に、運営補助金を交付する。

・補助金 月額30,000円を上限

運営資金の補助だけでなく、生活支援サービス担い手養成研修等も実施していく。

### 認知症カフェ運営補助金交付事業

認知症当事者と家族の交流や情報交換の場である「認知症カフェ」を実施する市民団体を広く公募し、運営補助金を交付する。

・補助金 月額 10,000 円を上限